

(様式1)

大教教第42号

令和5年 7月27日

文部科学大臣 殿

大田原市長 相馬 憲一

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

大田原市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和3年度～令和4年度（2年間）

（担当）

大田原市教育委員会教育総務課

住所：栃木県大田原市本町1-4-1

電話：0287-23-3112

E-mail：soumu-kyouiku@city.ohtawara.tochigi.jp

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和5年5月8日

(2) 評価の方法

市行政内部の中央進行管理事務の管理表により総括し、四半期ごとの進捗状況を管理した。計画期間経過後、その策定した指標に基づき目標の達成度合いについて評価した。結果については、市のホームページにて公表する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、おおむね達成できた。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

薄葉小学校の教室棟について、目標である児童等の安全を守り、安心して豊かな教育環境の整備を実現した。

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特徴性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
薄葉小学校	(1)	06	大規模改造(老朽)	校	R	R4.4～R4.10	R4.11.1		